

# AIを活用した 入学者追跡調査研究

## AI × 入学者追跡調査

### 研究内容

入学者追跡データを研究として用いることができるように、データ利用規則等を整えました。現在は、機械学習を用いて入学者追跡データを分析するためのシステム構築を進めているところです。今後、学生の卒業時の状況を予測する等の分析結果を蓄積することにより、教育改善や入試改善を検討するための資料にできればと考えています。

### 研究の成果

近年、データ活用の重要度は高まっています。しかし、個人情報保護に関する様々なルールがあるため、誰もが自由にデータを扱えるわけではありません。個人情報を守りながら保有するデータの活用促進が求められています。2022年4月個人情報保護法が改正され、この改正法に基づいて、山口大学においても個人情報保護に関わるデータ活用の環境が整えられました。しかし、入学者追跡調査に用いるデータは個人情報であるため、規則等が整っても、その活用促進には意識のレベルで、まだまだハードルが高い状況にあると感じています。現在、AIを活用した分析を可能にするシステムを整備しているところで、システム導入前のシミュレーションでは、データを蓄積していくことでより検証の精度が上がり、卒業時の予測等が可能になると感じました。

### 研究の可能性

入学者追跡データを用いて機械学習を行うためのシステムを整えるにあたり、データサイエンスの専門家の方々にご支援をいただいています。入学者追跡データを扱うことに対する抵抗感を感じる方もいるため、まずはアドミッションセンターにおいて機械学習を用いた検証作業を進め、その結果を各学部にフィードバックし、同時に各学部でのデータの活用を促進していきたいと考えています。様々な分野で山口大学が保有する入試データや入学者データを積極的に活用し、検証に取り組むことで、新たな検証方法や検証の視点が見出せると期待しています。

### Researcher profile

教育・学生支援機構  
アドミッションセンター

准教授 林 寛子

令和2年度AI 研究デザインプロジェクト